

令和5年12月11日

船橋市長 松戸 徹 様

船橋市歯科診療所運営委員会
委員長 松島 潔

令和4年度事業報告書に基づく管理の実績についての評価（報告）

船橋市歯科診療所運営委員会設置要綱第2条第3号の規定により、令和4年度事業報告書に基づき、中期目標達成期間における当事業年度の管理の実績について評価を行った。

中期目標に係る達成状況の評価については別紙のとおりである。

令和4年度 船橋市歯科診療所 中期目標達成状況評価

1. 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

目標1 口腔ケアの充実

評価:S

両歯科診療所において、評価対象者118名中、口腔内の状態が「可」と評価された者が110名、実績値は93.2%で、目標値(70%以上)を133%上回り、目標値を大きく達成する結果となった。

患者に対しては、それぞれの特性を考慮したブラッシング指導や模型・絵コンテなどを利用した分かりやすい説明をすることで、また介助者(支援者)に対しては口腔ケアの実践的な説明を行うことで、患者と家族双方が口腔ケアの重要性を認識し、口腔衛生に対する意識が改善され、今回の結果につながったものといえる。

今後も、さらなる口腔ケアの充実に取り組んでいただきたい。

目標2. 摂食嚥下機能訓練による口から食べる機能の維持

評価:S

両歯科診療所において、評価対象者45名中、経口摂取できる状態を維持できた者が44名、実績値は97.8%で、目標値(70%以上)を139%上回り、目標値を大きく達成する結果となった。

かざぐるま歯科診療所において、嚥下食が普通食になった患者が15名中1名、さざんか歯科診療所においても、嚥下食が普通食になった患者が2名中1名など、改善がみられた。

今後も引き続き、家族や多職種と連携し、患者が経口摂取可能な状態を維持できるような取り組みを期待したい。

目標3. 固定診療の患者満足度

評価:S

両歯科診療所において、実績値99.3%で、目標値(80%以上)を124%上回り、目標値を大きく達成する結果となった。アンケート内容を確認し、患者の意見をしっかりと吸い上げていただければと思う。

アンケートでは、いつも丁寧に見ていただいている、安心して受診できるなどといった声が寄せられた。

また、アンケート回収箱を使ってアンケートの回収を行うことで、率直な意見を出しやすい状況を確認していた。

目標4. 訪問診療の患者満足度

評価:S

両歯科診療所において、実績値95.0%と目標値(80%以上)を118%上回り、未回答を除くと、概ね「満足」と「やや満足」という結果となり、目標値を大きく達成

する結果となった。高い満足度の維持ができるよう取り組んでいただきたい。

訪問診療については、高齢化に伴い今後も需要が増えることが予想されるので、しっかりと準備をしていただければと思う。

2. 財務内容の改善に関する事項

目標5 かざぐるま休日急患・特殊歯科診療所 指定管理料の執行率

評価:S

指定管理料の予算額39,276,025円に対して、決算額が34,261,115円となり、実績値87.2%で、目標値(100%以下)を12%以上削減し、目標値を大きく達成する結果となった。

薬剤等のロス削減、歯科材料の適量使用や、予約状況に応じた当番医の調整など、経費の削減に努めていた。

目標6 さざんか特殊歯科診療所 指定管理料の執行率

評価:S

指定管理料の予算額60,803,487円に対して、決算額が53,361,426円となり、実績値87.8%で、目標値(100%以下)を12%以上削減し、目標値を大きく達成する結果となった。

パンフレット等を利用した周知活動により患者数の増加がみられた。次年度以降も、需要に応じた対応とともに、引き続き安定した診療所運営を行っていただきたい。

3. その他管理に関する重要事項

目標7 従事者に対し医療安全研修や技術向上を目的とした研修を実施する。

評価:S

学術講演会を3回、救急蘇生実習を1回、それぞれ集合形式とWeb形式を併用したハイブリットな形で開催し、歯科診療及び関連する知識の向上に努めていた。また、医療安全研修については計4回のほか、感染症に対する危機管理に関する講習会や連絡協議会を実施し、さらなる医療サービスの向上および診療所内でのスタッフ間の連携や情報共有等に努めていた。

今後も同様の研修を継続的にを行い、安心安全な医療の提供に努めていただきたい。